

題材内容資料について

この資料は、年間指導計画の作成に必要な下記の内容を記載しています。
地域や学校の実情に合わせた年間指導計画のご作成にお役立てください。

①	②	④	⑤	⑥	⑦	⑧
分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連	道徳との関連
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.14-15 動き出しそうな動物たち 6～10 時間 <div>③</div> <div>QR</div>	題材の目標 動物の生命感や躍動感、表情やしぐさなどの特徴から主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考え、材料や用具の特性を生かして創造的に立体で表す。 主な学習内容 ○動物の生命感や躍動感、表情やしぐさなどから表現の主題を生み出す。 ○生き生きとした動きを表すための形や色彩、材料などについて構想を練る。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、動き出しそうな動物の姿を追求しながら立体に表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、作品から受ける思いなどについて話し合う。	教師 画用紙 針金 加工粘土 新聞紙 半紙 タブレット など 生徒 筆記用具 絵の具 色鉛筆 など	（知識・技能） <div>知</div> 形や色彩などが感情にもたらす効果や、表情やしぐさなどを基に、生き物の印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 <div>技</div> 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 （思考・判断・表現） <div>発</div> 生命感や躍動感、動物の特徴やイメージを基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 <div>鑑</div> 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） <div>態表</div> 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に動物の特徴やイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 <div>態鑑</div> 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	<div>A 表現</div> (1)ア (7) (2)ア (7) <div>B 鑑賞</div> (1)ア (7) <div>[共通事項]</div> (1)アイ	D (19)

①分野

- 分野は、教科書の構成の「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」に該当する内容を示し、それぞれの活動を「表現・鑑賞」または「鑑賞」に分類しています。

②ページ・題材名・配当時間の目安

- 各題材の教科書掲載ページ、題材名を示しています。
- 配当時間は、学校や生徒の実情に合わせて柔軟な取り扱いができるよう、基本的に幅を持たせて設定しています。

③二次元 QR コード

- 掲載された二次元 QR コードから関連するデジタルコンテンツを参照することができます。

④題材の目標・主な学習活動の流れ

- 各題材で学習する目標と、授業の流れに沿った主な生徒の活動を示しています。

⑤主な材料・用具

- 授業に必要な主な材料や用具について、教師や生徒が準備するものをそれぞれ分けて示しています。

⑥題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）

- 各題材の観点別評価規準の例を示し、「おおむね満足できる状況」（B）について記載しています。
- 観点別学習状況
「十分満足できる状況」と判断されるもの：A
「おおむね満足できる状況」と判断されるもの：B
「努力を要する状況」と判断されるもの：C
- 評価の観点及びその趣旨、評価規準の例の略号は、次のとおりです。

【評価の観点及びその趣旨】

観 点	趣 旨	略 号
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表している。	<div>知</div> <div>技</div>
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し発想・構想を練ったり、美術や美術文化を鑑賞したりしている。	<div>発</div> <div>鑑</div>
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	<div>態表</div> <div>態鑑</div>

【学年別の評価の観点の趣旨】

観 点	趣旨／第 1 学年	趣旨／第 2 学年・第 3 学年
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

国立教育政策研究所教育課程研究センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校 美術）』（令和 2 年 3 月）より https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_bijyut.pdf

⑦学習指導要領との関連

- 各題材に該当する学習指導要領で示された領域や内容項目等を「A 表現」「B 鑑賞」「[共通事項]」に分けて示しています。

⑧道徳との関連

- 道徳と特に関連が深い題材について、「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」を踏まえ、具体的な内容項目を示しています。

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.12-13 見つめると見えてくるもの 3～4 時間	題材の目標 身近なものや愛着のあるものを見つめ、感じ取った形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し、表現方法を工夫して絵で表現する。 主な学習内容 ○身近なものや愛着のあるものをよく見たり、触ったりして特徴をとらえ、主題を生み出す。 ○主題を基に、全体と部分との関係を考えるなどして構想を練る。 ○鉛筆や絵の具の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 複数のモチーフ 画用紙 スケッチブック など 生徒 モチーフ 筆記用具 色鉛筆 絵の具 パステル など	（知識・技能） 知 形や色彩、明暗、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 線の強弱や水加減などの鉛筆や絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） 発 身近なものを見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.14-15 じっくり見ると見えてくる 3～5 時間 	題材の目標 身近にあるものを見つめ、形や色彩、質感などの特徴を捉えたり何かに見立てたりして主題を生み出し、構成や材料、用具を工夫して立体で表現する。 主な学習内容 ○身近にあるものをよく見て、スケッチをするなどしてその特徴を捉えたり何かに見立てたりして主題を生み出す。 ○主題を基に、全体と部分との関係を考えるなどして構想を練る。 ○粘土や絵の具の特徴を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 加工粘土 へら 粘土板 など 生徒 筆記用具 絵の具 ビニル袋 など	（知識・技能） 知 形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、何かに見立てたり、全体のイメージを捉えたりすることを理解している。 技 粘土や絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） 発 身近なものを見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.16-17 なぜか気になる情景 3～5 時間	題材の目標 見慣れた情景の中の気になる場所やものを見つめ、感じ取った形や色彩の特徴、場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫して絵で表現する。 主な学習内容 ○見慣れた情景の中で気になる場所やものを見つけ、感じ取った形や色彩の特徴や場所のイメージから主題を生み出す。 ○主題を基に、構図などを考えるなどして構想を練る。 ○水彩絵の具の特徴を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 画用紙 画板 デジタルカメラ など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	（知識・技能） 知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や全体の様子などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 水彩絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） 発 身近な場所を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、場所のイメージなどを基に主題を生み出し、構図などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な場所の特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
絵画・彫刻など（表現・鑑賞）	p.18-19 人間っておもしろい 4～6 時間	題材の目標 身近な人の特徴や表情やしぐさを思い浮かべて、その人らしさを考えて主題を生み出し、その人への気持ちを表せるように材料や用具を工夫して絵や立体で表現する。 主な学習内容 ○その人らしさが表れる表情やポーズ、しぐさなどを考えながらスケッチを繰り返して主題を生み出す。 ○主題を基に、構図などを考えて構想を練る。 ○材料や用具を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 画用紙 加工粘土 デジタルカメラ など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	（知識・技能） 知 顔の角度や表情、しぐさ、色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、身近な人のよさや印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） 発 身近な人を見つめ感じ取った特徴などを基に主題を生み出し、構図を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近な人の特徴などを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	B (6)
		題材の目標 材料の形や色彩、質感など材料のイメージを広げて主題を生み出し、材料の組み合わせ方や用具を工夫して立体表す。 主な学習内容 ○木や石、日用品などの形や色彩、質感などの特徴から主題を生み出す。 ○主題を基に、全体と部分との関係を考えるなどして構想を練る。 ○粘土などの特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。		（知識・技能） 知 材料の形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、何かに見立てたりするなど全体のイメージで捉えることを理解している。 技 粘土などの生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） 発 材料を見つめ感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近な材料の特徴や美しさなどを基に見立ててるなどして構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	
絵画・彫刻など（表現・鑑賞）	p.22-23 墨と水の出会い 3 時間	題材の目標 水の量や筆の動かし方、線の勢いなどを試しながら主題を生み出し工夫して表す。 主な学習内容 ○水墨表現を用いた作品を鑑賞し、水分量や筆の動かし方などによる表現の違いを感じ取る。 ○水の量や筆の動かし方、線の勢いを試しながら、感じ取った形や色彩の特徴や美しさから主題を生み出し、構想を練る。 ○墨や筆の動かし方などを生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 画筆 ローラー 和紙 色紙 絵皿 筆拭き 筆洗い など 生徒 筆記用具 書道用具 など	（知識・技能） 知 墨の濃淡や筆の線の勢いなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、墨表現のよさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 墨や筆の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） 発 感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、墨による表現の効果を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と筆使いや水加減の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく表したい主題などを基に構想を練ったり、意図に応じて筆使いや水加減を工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく墨表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	C (17)

美術 1 美術との出会い 題材内容資料

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.24-25 刷って出会う楽しさ 3～5 時間	題材の目標 表したい主題に合うように版の特性を生かした表現効果を考え、材料や用具を工夫して版で表す。 主な学習内容 ○版表現を用いた作品を鑑賞し、版で表す効果や技法による表現の違いなどを感じ取る。 ○対象から感じ取ったことや想像したことなどを基に、版の特徴を考えながら主題を生み出す。 ○主題を基に、版による表現の効果を工夫して構想を練る。 ○墨や筆の動かし方などを生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 版木 塩ビ版(版表現に必要なもの) など 生徒 筆記用具 彫刻刀 ニードル など	（知識・技能） 知 形や色彩、線や面、影の表し方などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、版画表現のよさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 彫りや刷りの生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） 発 感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、版による表現の効果を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と彫りや刷りの工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく表したい主題などを基に構想を練ったり、意図に応じて彫りや刷りを工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく版による表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（鑑賞）	p.28-29 美のタイムトラベル 1～2 時間	題材の目標 形や色彩、模様、材料や場所に着目し、原始美術の造形的なよさや美しさ、当時の人々の願いや作者の意図と工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。 主な学習内容 ○ラスコーの壁画や遮光器土偶など原始美術の表現を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことなどを話し合う。 ○作品を通して、作者の心情や表現意図、創造的な工夫などを考えて発表し合う。 ○発表意見や自分の考えなどから、人間と造形の関わりを理解し、なぜ美術が生まれたのかについてまとめる。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 地図帳 など	（知識・技能） 知 形や色彩、模様、材料、場所などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさ、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 鑑 日本及び諸外国の文化遺産などから、よさや美しさなどを感じ取り、人々の願いや、作者の意図と表現の工夫、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、人々の願いや、作者の意図と表現の工夫、美術文化の見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)イ (1)	(1)アイ	D (21)
絵や彫刻など（鑑賞）	p.30-31 絵の中をよく見ると 1～2 時間	題材の目標 構図、色彩や人物の表情や視線などから、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。 主な学習内容 ○描かれている人や事物、構図や色づかいから絵の中でどのような会話が交わされているかを考える。 ○作品を鑑賞して感じたことや考えたことについて、友だちと意見を述べ合う。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能） 知 構図や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、人物や情景、構図や色彩、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、人物や情景、構図や色彩、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)ア (7)	(1)アイ	B (9)
絵や彫刻など（鑑賞）	p.32～37 屏風、美のしかけ 1～2 時間	題材の目標 屏風の表現のよさや美しさ、折ることで生まれる立体感や見え方の変化を感じ取るなどして見方や感じ方を広げる。 主な学習内容 ○実際に教科書紙面を折って立て、「風神雷神図屏風」と「燕子花図」を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことなどをワークシートなどにまとめる。 ○グループや全体で話し合い、作者の意図や表現の工夫、各自が感じた思いの違いについて意見を述べ合う。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能） 知 構図、余白、折りによる空間や奥行きの表現などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 鑑 日本の文化遺産である屏風などから、よさや美しさなどを感じ取り、余白や折りなどの作者の意図と工夫、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、余白や折りなどの作者の意図と工夫、美術文化の見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)イ (1)	(1)アイ	



美術 1 美術との出会い 題材内容資料

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況　Ｂ）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	【共通事項】	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.40～41 広がる模様の世界 4～5 時間	題材の目標 目的や条件などを基に、自然物や人工物の形や色彩の特徴を捉えて、構成を工夫してデザインする。 主な学習内容 ○目的や条件を基に、自然物や人工物の形や色彩の特徴の美しさから主題を生み出す。 ○スケッチなどにより形や色彩の特徴をとらえ、単純化や強調をするなどして構成を考える。 ○効果を考えながら彩色する。 ○お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 ワークシート 画用紙 布 消しゴム　など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具　など	（知識・技能） 知 自然物や人工物などの形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 発 身近な自然物などの特徴やイメージ、用いる場面などから主題を生み出し、形や色彩の構成を工夫したり、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたり、表現する構想を練っている。 鑑 装飾や使いやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく自然物の特徴などを生かして模様をデザインするなど構成や装飾の目的や機能を考えて、構想を練ったり、意図に応じて工夫して見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく装飾や使いやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (ア) (2)ア (ア) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.42～43 文字っておもしろい 4～5 時間	題材の目標 イメージや伝えたい内容が相手にわかりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。 主な学習内容 ○身近なところにあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。 ○文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面から主題を生み出し、わかりやすさと形や色彩などの調和を考えてデザインする。 ○お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 画用紙 レタリング字典 など 生徒 筆記用具 ペン　など	（知識・技能） 知 文字や文字が意味するものの形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。 技 絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 発 文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、わかりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。 鑑 文字の意味とわかりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく意味や美しさなどを生かして文字をデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えて、構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく文字の意味とわかりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (イ) (2)ア (ア) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.44～45 印象に残るシンボルマーク 5～6 時間	題材の目標 伝えたい内容やイメージを基に、象徴するものや形や色彩の効果を考え、材料や用具などを工夫してマークをデザインする。 主な学習内容 ○身の周りのシンボルマークを鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違い、工夫について話し合う。 ○伝えたい内容やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、わかりやすさと形や色彩などの調和を考えてデザインする。 ○お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 鑑賞させたいマーク 画用紙 レタリング字典 など 生徒 身の回りにあるマーク 筆記用具 絵の具 ペン　など	（知識・技能） 知 具体物や文字などの形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。 技 絵の具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 発 伝える内容やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、わかりやすさと形や色彩などとの調和を考え、表現する構想を練っている。 鑑 伝えたい内容とわかりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく、わかりやすく印象に残るマークをデザインするなど伝達のデザインの目的や機能を考えて、構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく伝えたい内容とわかりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (イ) (2)ア (ア) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	

美術 1 美術との出会い 題材内容資料

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.46-47 折って、切って、巻いて 3～4 時間	題材の目標 目的や条件をもとに、紙の加工方法や美しい構成を考え、材料や用具などを工夫してデザインする。 主な学習内容 ○紙を折ったり、切ったり、巻いたりする活動から、美しい形を見出す。 ○目的や条件を基に主題を生み出し、紙の特性を生かして制作する。 ○お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 さまざまな種類の紙 カッターマット カッター 定規 など 生徒 筆記用具 はさみ のり 絵の具 など	（知識・技能） 知 紙の特性、形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 紙の加工方法などを身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 発 紙の特性やよさ、加工方法、飾る場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考えたり、表現する構想を練っている。 鑑 紙の特性と装飾の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく紙の特性やよさなどを生かしてデザインするなど構成や装飾の目的や機能を考えて、構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく紙の特性と装飾の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (ア) (2)ア (ア) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.48-49 わくわくコミュニケーション 3～6 時間	題材の目標 情報が相手にわかりやすく伝わるように、イラストレーションや写真と文字の組み合わせを生かした構成を考え、材料や用具などを工夫してデザインする。 主な学習内容 ○作品を鑑賞し、イラストレーションや写真と文字の組み合わせによるわかりやすさについて話し合う。 ○伝えたい情報やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、わかりやすさと表現の工夫の調和を考えてデザインする。 ○材料の特性を生かして、意図に応じて工夫し、見通しを持って制作する。 ○お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 さまざまな種類の紙 カッターマット カッター 定規 など 生徒 筆記用具 はさみ のり 絵の具 など	（知識・技能） 知 イラストレーションや写真、文字の形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達する内容を全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫し制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 発 伝えたい情報やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、わかりやすさと形や色彩、文字の工夫などとの調和を考え、表現する構想を練っている。 鑑 伝えたい情報とわかりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しくイラストレーションと文字を組み合わせるなど伝達のデザインの目的や機能を考えて、構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく伝えたい情報とわかりやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (イ) (2)ア (ア) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.50-51 暮らしの中の木の工芸 5～7 時間	題材の目標 木肌の持つ温かさや優しい感触を生かし、用途や機能と美しさなどを考え、木の生かし方や用具などを工夫して制作する。 主な学習内容 ○木の持つ温かさや木肌の美しさを味わう。 ○使いやすさと美しさを兼ね備えたデザインを構想する。 ○木の特性を理解して、加工方法や用具などを適切に考えながら見通しを持って制作する。 ○お互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。	教師 木材 万力 作業板 木工やすり 紙やすり 小刀 など 生徒 筆記用具 彫刻刀 など	（知識・技能） 知 木の質感や特性、形や色彩などが感情にもたらす効果や、ぬくもりなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 木の加工方法などを身に付け、意図に応じて工夫し制作の順序などを考えながら見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 発 木の特性や美しさなどを基に、使う場面や使う人の気持ちなどから主題を生み出し、使いやすさと美しさなどとの調和を考え、表現する構想を練っている。 鑑 木のよさや使いやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく木のよさや使いやすさなどを考えて、構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく木のよさや使いやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (ウ) (2)ア (ア) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	D (20)

美術 1 美術との出会い 題材内容資料

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.52-53 暮らしに息づく土の造形 4～7 時間	題材の目標 土が持つ素材のよさを生かし、用途や機能と美しさなどを考え、土の生かし方や用具などを工夫して焼き物をつくる。 主な学習内容 ○身近な焼き物からその用途や機能性について考える。 ○使う目的や機能、美しさなどから形を考える。 ○土の特性を生かしながら、つくりたいものに合った技法で制作する。 ○実際に料理などをのせた写真を使って事後レポートを作成し、よさや工夫について話し合う。	教師 粘土 へら 延べ棒 たたら板など 焼き物に必要な用具 など 生徒 筆記用具 型押しの材料 など	（知識・技能） [知] 焼き物の材料、形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、温かさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 [技] 焼き物の加工方法を身に付け、意図に応じて工夫して表している。 （思考・判断・表現） [発] 焼き物の特性や美しさなどを基に、使う場面や使う人の気持ちなどから主題を生み出し、使いやすさと美しさなどとの調和を考え、表現する構想を練っている。 [鑑] 焼き物のよさや使いやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） [態表] 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく焼き物のよさや使いやすさなどを考えて、構想を練ったり、意図に応じて工夫し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 [態鑑] 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく焼き物のよさや使いやすさの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (ウ) (2)ア (ア) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	
デザインや工芸など（鑑賞）	p.54-55 自然の美しさから生まれた 1～2 時間	題材の目標 自然物を発想の源としてつくられたものや自然の造形を生かした建築の装飾の工夫や美しさを感じ取り、生活の中の美術の働きを理解する。 主な学習内容 ○自然の美しさを取り入れたデザインを鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことなどを話し合う。 ○自然界の美しさを生かした造形が、身近な暮らしをどのように彩っているかを探し、自然と共存してきた人類の美意識について考えて意見を述べ合う。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 地図帳 など	（知識・技能） [知] 形の規則性や連続性、構造などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや特徴、印象など全体のイメージで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） [鑑] 自然の造形を取り入れた形や構成の美しさなどを感じ取り、作者の意図と工夫や、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） [態鑑] 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく自然の造形を取り入れた形や構成の美しさなどを感じ取り、作者の意図と工夫や、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)イ (ア)	(1)アイ	D (21)
デザインや工芸など（鑑賞）	p.56-57 祭りを彩る造形 1～2 時間	題材の目標 日本やアジアの祭りに見られる造形物の特徴やイメージの違いを感じ取ると共に、住んでいる地域の美術の伝統文化への関心を高める。 主な学習内容 ○日本各地域やアジアの国に伝わる祭りの造形物を鑑賞し、それぞれの特徴や違い、制作の意図と工夫、造形物に込められた人々の願いなどについて話し合う。 ○住んでいる地域の祭りの造形物や伝統装束などを調べ、文化の違いや共通点について意見を述べ合う。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 地域の祭りの資料 など	（知識・技能） [知] 形や色彩、素材、制作技法などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、はなやかさや迫力など全体のイメージで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） [鑑] 身近な地域や日本及び諸外国の祭りなどから、よさや美しさなどを感じ取り、制作の意図と工夫、社会の中の美術の働きや美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 （主体的に学習に取り組む態度） [態鑑] 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく祭りに見られる造形的なよさや美しさなどを感じ取り、制作の意図と工夫、社会の中の美術の働きや美術文化について考えるなどして見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)イ (イ)	(1)アイ	C (16)

美術 1 美術との出会い 題材内容資料

表紙・オリエンテーション・学びを支える資料

ページ・タイトル	掲載内容	ページの活用方法
表紙 ヨハネス・フェルメール 「真珠の耳飾りの少女」 	○黒の背景にトルコ風の青と黄色のターバンを巻いた少女の振り向きざまの様子が描かれている。少女の瞳や真珠の耳飾りは強い光を受け光り輝いている。口元はかすかな笑みを浮かべているようにも見え、今にも何かを語り出しそうである。	○話し合い活動の中で補色を用いた効果的な配色や光の表現などの特徴や作者の表現意図について の意見交換をし、イメージを広げ、見方や感じ方を 広げていく。 ○絵の具の材料を紹介する場面でラピスラズリのように 高価な宝石も絵の具として使われてきたことを紹介する。
p.2～5 オリエンテーション 美術との出会い アニメーションの背景画から 風景を見つめ直して	○「となりのトトロ」で美術監督を務めた男鹿和雄の 背景画を扉のページに配置している。また、アニメー ションの背景画ができるまでの工程や背景画の基と なるラフスケッチ、背景画とキャラクターの描かれ たセル画を組み合わせてできる完成画なども紹介し ている。	○構図や色彩、描き方などの視点から季節や時間の 流れを表すための工夫が読み取れる題材である。 ○中学生にとっても見慣れた作品を手がけた作家の 作風や、自然を見つめるまなざしに触れることによ り、美術へのオリエンテーションとして扱うことが できる。
p.5 オリエンテーション 学びの言葉 松任谷由実	○「やさしさに包まれたなら」「春よ、来い」など の代表曲を持つ松任谷由実が、音楽を絵画のになぞ らえて、制作に向き合う姿勢を語っている。	○絵画表現に苦手意識を持っている生徒に、見たま まを無心に写し取っていくという姿勢や目に見えな い部分の表現の大切さを伝えたい。
p.6-7 オリエンテーション 中学校美術の世界へようこそ	○美術1「美術との出会い」では新しい見方や感じ 方が生まれ、美術2・3上「学びの実感と広がり」で はじっくりと題材を取り組み、美術2・3下「学びの 探求と未来」では自分と向き合い、将来の生き方につ いても考える―。中学校美術の3年間の学びが一 目で見通せるようになっていて、生徒自身が意欲 的に美術に取り組めるように工夫している。	○小学校の図画工作から中学校の美術へスムーズ に移行するために活用する。 ○美術は難しいのではないかという不安を感じて いる生徒が、3年間の学びのつながりや広がりを見 通せることで安心して意欲的に取り組める。 ○美術の学びを小学校から、そして中学校卒業後 もつながっていくイメージを抱かせるなどして、 生徒の興味を喚起したい。
p.8-9 オリエンテーション この教科書で学びみなさんへ 	○教科書を活用した学び方の説明。題材ページの 主な構成や3つの「学びの目標」、その題材で大事 にしたい「造形的な視点」、わかりやすさを追求し た「マーク」の説明などが掲載されている。	○オリエンテーションにおいて、美術の学習で学 ぶべき分野や身に付けたい力をこのページを活用 して説明する。また、学びの目標や造形的な視点 を生徒と共有していくことや、道徳や他の題材と 関連しながら学習を進めていくことを確認する。 ○1年生のオリエンテーションとして、ページに 示された詩を朗読するなどして、美術の学習で学 ぶ分野や身に付けたい力について意識させる。 ○「二次元 QR コードについて」に収録されて いる教科書全体の説明動画を活用することもでき る。
p.10-11 絵や彫刻との出会い あなたらしさを見つけて	○A表現(1)アの活動において、3年間でどのよ うな資質・能力が得られるのかが示されている。身 近なものをよく見つめることで新しい見方や感じ 方を得て、価値観が変容し、新しい自分の発見へ とつながることを示している。	○A表現(1)アの題材を扱う際に、生徒に学びと ってもらいたいことを意識付けるために活用する。
p.26-27 鑑賞との出会い 見方や感じ方を広げよう	○B鑑賞の活動において、3年間でどのような資 質・能力が得られるのかが示されている。見方や 感じ方を広げ、深めるために、作品から感じ取る こと、生活の中の形や色彩から感じることを、美 術文化や伝統から学ぶことの3つのポイントを 紹介している。	○B鑑賞の題材を扱う際に、生徒に学びとって もらいたいことを意識付けるために活用する。
p.38-39 デザインや工芸との出会い 人の暮らしを豊かに	○A表現(1)イの活動において、3年間でどのよ うな資質・能力が得られるのかが示されている。 中学校3年間で学ぶデザインや工芸には、「飾る」 「伝える」「使う」の3つの目的や機能がある ことを紹介している。	○小学校図画工作にはなかったデザインという 概念について理解するための資料として活用する。 ○A表現(1)イの題材を扱う際に、生徒に学び とってもらいたいことを意識付けるために活用 する。

美術 1 美術との出会い 題材内容資料

表紙・オリエンテーション・学びを支える資料

ページ・タイトル	掲載内容	ページの活用方法
p.58-59 学びを支える資料 発想・構想の手立て 鈴木康広	○発想や構想の手立てとして、アーティスト鈴木 康広の発想・構想法を紹介。これまでのアイデア を描きとめたノートが紹介されていて、身近な ものから発想が広がって作品へとつながってい ることがわかる。 ○2つの「ファスナー船」は日常にあるものを 独自の視点でとらえ直した作品で、見立てを 上手く活用した作品である。	○表現の学習の中でも、発想、構想の比重が 多い学習の際に活用したい。 ○スケッチブックの利用方法を説明する際 に、スケッチブックにもアイデアをためたり、 余白を取ったりすることを指導し、効果的な 活用方法を示したい。
p.60 学びを支える資料 鉛筆で描く 水彩で描く	○鉛筆や水彩の技法など具体的にさまざまな バリエーションを図版とともに紹介している。	○スケッチや絵画、平面のデザインなど、 水彩絵の具を使用する際の資料として活用 したい。
p.61 学びを支える資料 さまざまな技法で描く 	○モダンテクニックのさまざまな技法を具 体的な図版とともに紹介している。	○さまざまな技法体験は、美術に対して 苦手意識を抱いている生徒も取り組みやす く、遊び的な要素から発展して作品とし て成立させることもできる。抽象絵画の 制作など活用範囲も広い。
p.62 学びを支える資料 遠近感を表す	○線遠近法(一点透視、二点透視、三点透 視)、空気遠近法を実際にそれぞれの遠近 法を用いた作品や写真とともに紹介して いる。	○風景や空想画を描く際に効果的に活用 したり、絵を描いている時の視点の位置 を確認したりする際に活用したい。
p.63 学びを支える資料 文字の基本	○明朝体、ゴシック体の基本的な点画を 紹介している。また、漢字とかなのバラ ンスやアルファベットの文字間について も説明している。	○「文字っておもしろい」「印象に残る シンボルマーク」「わくわくコミュニ ケーション」などで活用したい。
p.64 学びを支える資料 木版画  コラグラフ	○木版画では、丸刀、三角刀、切り出し 刀、平刀の4つの彫刻刀の使い分けを示 すとともに彫刻刀の持ち方や安全面につ いても説明している。 ○コラージュの技法を応用したコラグラ フでは制作過程を図版とともに紹介して いる。	○木版画やコラグラフでは刃物を使う ことが多い。事故防止のために、制作に 入る前にこのページを活用し、基本的な 用具の取り扱いについて確認したい。
p.65 学びを支える資料 材料を知ろう	○日本で多く活用されている木と土の素 材の特徴や、これら素材を用いた作品を 紹介している。	○工芸の学習の中で資料として活用し たい。
p.66 学びを支える資料 木工の技法 	○「切る(のこぎり・電動糸のこ盤)」「 削る(やすり・小刀)」「彫る(彫刻刀)」 という基本的な加工方法について示して いる。	○木工では刃物を使うことが多い。事故 防止のために、制作に入る前にこのペ ージを活用し、基本的な用具の取り扱 いについて確認したい。
p.67 学びを支える資料 焼き物をつくる 	○焼き物の道具や工程、成形の種類や 施釉についてなど基本的な知識を紹介し ている。	○「暮らしに息づく土の造形」をはじ め表現題材の資料として活用したい。
p.68-69 学びを支える資料 自然界や身の回りにある形や色彩	○花、野菜、果物、気象や自然現象、 地表、動物など、自然界の中にあり、 形や色彩の美しい図版を掲載している。	○発想したり、構想を練り上げたりする 時に、形や色彩のヒントとして活用し たい。
p.70～72 学びを支える資料 色彩の基本・仕組み	○色彩豊かに表現されるゴッホの「種 まく人」を配置し、色への関心を高め、 色の効果について考えるきっかけを示 している。 ○色光の三原色、色料の三原色の違い について紹介している。 ○色の三属性(色相、明度、彩度)、色 の対比、色の感じなどを紹介している。	○さまざまな題材で色彩を扱う際に 活用したい。 ○色の三属性は折り込みページになっ ており、広げることで他のページを見 ながら一緒に確認することができる。
p.73 学びを支える資料 日常の中の美術	○自分なりの視点を生み出すために自 然物や日常の生活に目を向けることの 大切さを示している。	○発想・構想の場面でヒントとして活 用したい。
p.74-75 学びを支える資料 美術館へ行こう	○美術館の役割や取り組みと、全国さ まざまな美術館が紹介されている。	○休業日や長期休業などの前に活用し 美術館に興味を持たせる。生徒にと って美術館が身近なものになるよう にしたい。

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	〔共通事項〕	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.10-11 瞬間の美しさを形に 6～10 時間	題材の目標 瞬時の人の動きに関心を持ち、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、形や重心の効果、動きの感じ、躍動感などを捉え、材料の特性を生かして創造的に立体で表す。 主な学習内容 ○一瞬の人の動きの躍動感や緊張感、美しさなどから感じ取ったイメージを基に主題を生み出す。 ○関節や重心の位置、「のびる」「ためる」などの動きの感じなどについて考え、形、色彩、材料などについて構想を練る。 ○主題を基に材料や用具を工夫し、人の瞬時の美しい動きを立体に表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や躍動感を表現する工夫などについて話し合う。	教師 加工粘土 針金 麻ひも しゅろ縄 板 心材 ラジオペンチ へら カメラ タブレット など 生徒 筆記用具 スケッチ用具 絵の具 など	（知識・技能） 知 形などが感情にもたらす効果や、関節や重心の位置など造形的な特徴を基に、動きの感じや躍動感など全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を追求して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 人の動きを深く見つめ感じ取ったことなどを基に主題を生み出し、形や重心の効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に人の動きの特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて表現方法を追求して彫刻で表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(7) (2)ア(7)	(1)ア(7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.12-13 視点の冒険 4～8 時間	題材の目標 普段とは違った視点から身近な風景を見つめ、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、構図の工夫や効果などを考え、材料や用具の特性を生かして創造的に絵や写真で表す。 主な学習内容 ○鑑賞作品について、視点の違いや構図の工夫による造形的なよさや美しさ、イメージの変化などを感じ取る。 ○見慣れた風景を視点の位置を変えて見つめ、感じ取った新鮮な感動から主題を生み出し、単純化や強調、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練る。 ○主題を基に絵の具などの特性を生かし、表現方法を追求しながら絵に表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、視点を変えることの面白さを味わったり、表現の工夫などを話し合ったりする。	教師 画用紙 カメラ タブレット など 生徒 筆記用具 絵の具 など	（知識・技能） 知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、見上げる、見下ろす、近づくなど視点の位置による見え方の違いなどを基に、そこから生じる印象の変化を全体のイメージで捉えることを理解している。 技 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を創意工夫して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化を基に主題を生み出し、構図などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に視点の違いによるイメージの変化などを基に構想を練ったり、意図に応じて表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(7) (2)ア(7)	(1)ア(7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.14-15 動き出しそうな動物たち 6～10 時間	題材の目標 動物の生命感や躍動感、表情やしぐさなどの特徴から主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考え、材料や用具の特性を生かして創造的に立体で表す。 主な学習内容 ○動物の生命感や躍動感、表情やしぐさなどから表現の主題を生み出す。 ○生き生きとした動きを表すための形や色彩、材料などについて構想を練る。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、動き出しそうな動物の姿を追求しながら立体に表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、作品から受ける思いなどについて話し合う。	教師 画用紙 針金 加工粘土 新聞紙 半紙 タブレット など 生徒 筆記用具 絵の具 色鉛筆 など	（知識・技能） 知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、表情やしぐさなどを基に、生き物の印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 生命感や躍動感、動物の特徴やイメージを基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に動物の特徴やイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(7) (2)ア(7)	(1)ア(7)	(1)アイ	D(19)

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	〔共通事項〕	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.16-17 心のイメージを形に 4～8 時間	題材の目標 感情やイメージなどを形や色彩などで表すことに関心を持ち、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え材料の特性を生かして創造的に絵や立体で表す。 主な学習内容 ○心で捉えた感情やイメージなどから主題を生み出す。 ○主題を基に形や色彩、創造的な構成を工夫するなどして表現の構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かして表現方法を追求しながら絵や立体に表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、主題をどう表したのかや表現の意図や工夫などについて話し合う。	教師 画用紙 針金 加工粘土 タブレット 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	（知識・技能） 〔知〕 形や色彩が感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、形や色彩の組み合わせを全体のイメージで捉えることを理解している。 〔技〕 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 〔発〕 感情やイメージなどの心の世界を基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 〔鑑〕 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 〔態表〕 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感情やイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔態鑑〕 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.18-19 構図に思いをのせて 2～3 時間	題材の目標 写真表現の特性を生かして表すことに関心を持ち、被写体の印象や瞬間の美しさなどから主題を生み出し、構図の効果を考えて構想を練ったりカメラの特性を生かしたりして創造的に表す。 主な学習内容 ○被写体の印象や瞬間の美しさなどから主題を生み出す。 ○主題を基にカメラの特性や効果を生かして創造的な表現の構想を練り、写真で表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫などについて話し合う。	教師 カメラ タブレット 撮影した画像のサムネイルシート プリンター など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能） 〔知〕 写す角度や配置、拡大や縮小、光や陰影、時間の静止などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、印象などを全体のイメージで捉えることを理解している。 〔技〕 カメラの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 〔発〕 被写体の印象や瞬間の美しさなどを基に主題を生み出し、構図やシャッター速度などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 〔鑑〕 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 〔態表〕 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に写真表現の特性などを生かして構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔態鑑〕 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.20-21 水と筆を操る 2～5 時間	題材の目標 墨などで表すことに関心を持ち、表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考えて表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表す。 主な学習内容 ○墨などの性質や技法に触れながら、表したいものやイメージから主題を生み出す。 ○主題を基に、濃淡や線などの効果を考えて造形的な表現の構想を練り、工夫して表す。 ○互いの作品や作家の作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。	教師 和紙 半紙 絵皿 など 生徒 筆記用具 書道道具 など	（知識・技能） 〔知〕 水加減による濃淡や筆の運びによる線の勢いなどが感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、墨などの単色によりつくり出されるイメージを全体で捉えることを理解している。 〔技〕 墨などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 〔発〕 表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 〔鑑〕 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 〔態表〕 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に墨などの特性を基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔態鑑〕 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	C (17)
絵や彫刻など（鑑賞）	p.22-23 なんでこれが美術なの？ 1～2 時間	題材の目標 現代美術に関心を持ち、物と場所、大きさ、形や色彩、制作の様子などに着目し、イメージを捉えるなどしながら、作者の心情や表現意図、創造的な工夫などについて考えるなど見方や感じ方を深める。 主な学習内容 ○現代美術の多様な表現を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことなどを話し合う。 ○作品を通して、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などを考え、発表し合う。 ○発表意見や教師の解説、自分の考えから現代美術のよさや美しさ、面白さなどについてまとめる。	教師 参考資料 ワークシート タブレット 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能） 〔知〕 物と場所、大きさ、形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的な特徴や制作の様子などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 〔鑑〕 現代美術の美しさ、面白さを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 〔態鑑〕 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に現代美術の面白さや考え方などに関心を持ってよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)ア (7)	(1)アイ	



美術2・3上 学びの実感と広がり 題材内容資料

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
絵や彫刻など（鑑賞）	p.24～29 浮世絵はすごい 1～2 時間	題材の目標 浮世絵のよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。 主な学習内容 ○浮世絵作品を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことを話し合う。 ○出された意見を基に、構図や色彩、線、彫りや摺りの特徴、作風や作品の印象などに着目しながら浮世絵の表現のよさや特性をまとめる。 ○制作者たちの意図と創造的な工夫について考え、美術文化の継承と創造などについて考えたことをまとめ、発表し合う。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能） 知 構図や色彩が感情にもたらす効果や、線、彫りや摺りなどの特徴を基に、作品の印象などを全体のイメージや浮世絵の作風などで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 鑑 浮世絵の表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫などや美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に浮世絵の表現のよさや美しさを感じ取り、版画としての特性、制作者たちの意図と創造的な工夫などや美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)ア (7) イ (4)	(1)アイ	C (17)
絵や彫刻など（鑑賞）	p.30-31 文化の出会いが もたらしたもの 1～2 時間	題材の目標 ジャポニズムの表現の特色や時代背景などに関心を持ち、作品の特徴や日本美術の作風がどのように生かされているかなどを捉え、表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通した国際理解、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。 主な学習内容 ○作品を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことを話し合う。 ○西洋の美術作品に影響を与えた日本美術作品のよさや美しさはどのようなところにあったのか、作品の特徴や時代背景なども視野に入れながら考え、意見を述べ合う。 ○ジャポニズムの表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通した国際理解、美術文化の継承と創造などについて考えたことをまとめ、発表し合う。	教師 参考資料 ワークシート 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能） 知 構図や色彩、線などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、日本美術の作風や印象がどのように生かされているかを捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 鑑 ジャポニズムの表現の特色や美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的にジャポニズムの表現の特色や美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)ア (7) イ (4)	(1)アイ	C (18)
デザインや工芸など（鑑賞）	p.32-33 手から手へ受け継ぐ 1～2 時間	題材の目標 工芸作品や技の素晴らしさに関心を持ち、形や色彩、材料、技法、作風や印象などを捉え、人の手による技の素晴らしさや作品の美しさ、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める。 主な学習内容 ○日本の伝統工芸品を鑑賞し、気づいたこと、感じたことを話し合う。 ○工芸作品の形や色彩、材料、技法に着目し作風や印象などについてまとめる。 ○人の手による技の素晴らしさや作者の思い、生活と深くかかわってきた工芸品のよさなどについて発表し合う。	教師 参考資料 ワークシート タブレット 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能） 知 形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や造形的な特徴や技法などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 鑑 人の手による技の素晴らしさや作品の美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に人の手による技の素晴らしさや工芸作品の美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)イ (4)	(1)アイ	C (17)
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.34-35 季節を楽しむ心 4～8 時間	題材の目標 生活に息づく美術の働きに関心を持ち、季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面などを基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考え、見通しを持ってデザインし表す。 主な学習内容 ○和菓子や扇子などの自然や季節感を取り入れた日本の伝統美術や工芸品のよさや特性について理解する。 ○自然のよさや季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面を基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考えアイデアスケッチをする。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って表す。 ○互いの作品や作家の作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。	教師 加工粘土 和紙 ワークシート など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	（知識・技能） 知 形や色彩などが自然や季節を感じさせる効果や、造形的な特徴などを基に、造形物の美しさを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 季節感を取り入れた日本の伝統や、用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて形や色彩、材料などの効果を総合的に考え、表現する構想を練っている。 鑑 季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面などとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に生活に息づく美術の働きなどを基に、季節感を表す構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面などとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (7) (2)ア (7) (4)	(1)ア (4)	(1)アイ	D (20)

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.36-37 ジジジチカピカ ポツポツパ 3～8時間	題材の目標 光や影の効果を生かしたデザインに関心を持ち、空間の美しさや使う場面などを基に主題を生み出し、光の形や色彩の変化、空間に与える印象などを捉え、見通しを持ってデザインし表す。 主な学習内容 ○自然光や人工的につくり出す光、またそれらによる影の様子などを鑑賞し、その効果や印象などについて感じたことを話し合う。 ○光がつくり出す空間の美しさや使う場面などを基に主題を生み出す。 ○主題を基に光の色や影の効果を考えながらランプシェードなどを制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。	教師 LEDライト などの光源 ケント紙 加工粘土 カメラ タブレット など 生徒 筆記用具 はさみ など	（知識・技能） <div>知光の形や色彩の変化が感情にもたらす効果などを基に、空間に与える印象を全体のイメージで捉えることを理解している。</div> <div>技材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。</div> （思考・判断・表現） <div>発光がつくり出す空間の美しさを基に、用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて光の色や影の効果など調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現する構想を練っている。</div> <div>鑑光のつくり出す空間の美しさや機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</div> （主体的に学習に取り組む態度） <div>態表美術の創造活動の喜びを味わい主体的に光や影の効果を基に構成や装飾の目的や機能を考えて構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</div> <div>態鑑美術の創造活動の喜びを味わい主体的に光のつくり出す空間の美しさや機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</div>	(1)イ (7) (2)ア (7) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	
		題材の目標 ピクトグラムデザインの関心を持ち、伝えたい内容やイメージ、伝える場面などを基に主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果を考え、見通しを持ってデザインし表す。 主な学習内容 ○身の回りにあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。 ○校内や身近な場所に活用できるサインやマークの設置を基に主題を生み出し、アイデアスケッチをする。 ○ひと目で伝わり、場所や目的に合ったデザインであるか互いに批評し合い、アイデアを再検討する。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。		（知識・技能） <div>知形や色彩が感情にもたらす効果や、具体物や行為を表す形の特徴などを基に、伝達するイメージなどを捉えることを理解している。</div> <div>技絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。</div> （思考・判断・表現） <div>発伝えたい内容やイメージなどを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現する構想を練っている。</div> <div>鑑伝えたい内容やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</div> （主体的に学習に取り組む態度） <div>態表美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝える目的や機能を考えて、ひと目でわかるピクトグラムの構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</div> <div>態鑑美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝えたい内容やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</div>	(1)イ (イ) (2)ア (7) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	〔共通事項〕	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.40-41 その一枚が人を動かす 4～8時間	題材の目標 ポスターデザインに関心を持ち、伝えたい情報やイメージ、伝える場面を基に主題を生み出し、文字の形や色彩、構成、伝達するイメージ、伝達効果などを考え、見通しを持ってデザインし表す。 主な学習内容 ○ポスターやブックカバーなどを鑑賞し、メッセージやイメージを伝えるための工夫について考える。 ○伝えたい情報や場面を見つけて主題を生み出し、発想方法を参考にしながら伝えたいことを効果的に伝えるデザインをアイデアスケッチする。 ○より印象深く伝えるために形や色彩、文字や画面構成に検討を加え、材料や用具の特性を生かして制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。	教師 画用紙 パソコン プリンター など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	（知識・技能） 知 イラストレーションや写真、文字の形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、伝達するイメージなどを捉えることを理解している。 技 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 伝えたい情報やイメージなどを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて形や色彩、イラストレーションや写真、文字による伝達の効果と調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え、表現する構想を練っている。 鑑 伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝える目的や機能を考えて、美しく印象に残るポスターなどの構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝えたい情報やイメージとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (イ) (2)ア (7) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.42-43 つくって使って味わう工芸 6～8時間	題材の目標 材料の特性や機能性を生かしてつくることに関心を持ち、材料のよさや美しさ、使う場面や機能などを基に主題を生み出し、材料や用具の特性を生かし、見通しを持ってデザインし表す。 主な学習内容 ○身の回りにある手づくりによる製品を取り上げ、材料の特性や質感などについて鑑賞する。 ○材料の持ち味や、使う場面などから主題を生み出し、アイデアスケッチをする。 ○主題を基に、材料や用具の特性を生かしながら制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて話し合う。	教師 木材 皮革 金属 木工やすり 紙やすり 電動系のこ 二ス 染料 など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 彫刻刀 など	（知識・技能） 知 材料の特性や質感、それらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や加工方法を基に、材料の持ち味を全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 材料のよさや美しさを基に、使う場面や機能などから主題を生み出し、使いやすさや機能と材料の特性や効果などとの調和を総合的に考え、表現する構想を練っている。 鑑 使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に材料の特性や機能性などを生かしてつくることを考え、構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (ウ) (2)ア (7) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	C (17)

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	[共通事項]	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.44-45 暮らしやすさのデザイン 3～6時間	題材の目標 使う人の立場や気持ちを考えたデザインに関心を持ち、機能と美しさの調和、使う人や場所などを基に主題を生み出し、材料や用具の特性を生かし、見通しを持ってデザインし表す。 主な学習内容 ○さまざまな立場の人が安全に暮らせるために工夫された製品などのデザインについて鑑賞し、特徴をまとめる。 ○機能と美しさの調和や使う人や場所などから主題を生み出し、アイデアスケッチと作品解説文を作成する。 ○主題を基に、使う人の立場や気持ちを考えながら制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫などについて話し合う。 ○誰もが安全で豊かに暮らすためのデザインの働きなどについて、考えたことをまとめ発表し合う。	教師 加工粘土 画用紙 ワークシート など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	（知識・技能） 知 形や色彩、材料などの性質や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 機能と美しさの調和を基に、使う人や場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、人へのやさしさと形や色彩の美しさなどとの調和を総合的に考え、表現する構想を練っている。 鑑 使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う人の立場や気持ちを考えて構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求し見通しを持って表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (ウ) (2)ア (7) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	B (6)
デザインや工芸など（鑑賞）	p.46-47 デザインで人生を豊かに 1～2時間	題材の目標 使う人の立場や社会における美術の働きに関心を持ち、形や色彩、材料などに着目し、作者の意図やイメージ、創造的な工夫などを捉えながら、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。 主な学習内容 ○社会における課題を美術の力で解決しようとする取り組みや製品について鑑賞し、感じたことや考えたことなどを話し合う。 ○使う人の立場や使う場面、作者の意図や創造的な工夫などについて考えまとめる。 ○誰もが心豊かに暮らせる社会を目指して、美術の力を使って自分たちに提案できることを考え話し合う。	教師 参考資料 ワークシート タブレット 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能） 知 形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、作者の意図を全体のイメージで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 鑑 使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う人の立場や使う場面との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や、生活や社会を豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)イ (7)	(1)アイ	C (12)
デザインや工芸など（鑑賞）	p.48-49 憩いを生み出す場所 1～2時間	題材の目標 身近な環境を美しく豊かにする美術の働きに関心を持ち、形や色彩、大きさや空間に着目し、場のイメージや造形的な美しさ、安らぎや自然との共生などの視点から作者の意図と創造的な工夫について考えるなどして、見方や感じ方を深める。 主な学習内容 ○作品を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことを話し合う。 ○身近な環境の中に見られる造形的な美しさや生活を豊かにする美術の働きなどを見付けて、発表し合う。 ○生活環境を豊かにする空間のデザインの効果などについて考え、意見交流する。	教師 参考資料 ワークシート カメラ タブレット 視聴覚機器 など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能） 知 形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や大きさや空間などを基に、場のイメージを全体で捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 鑑 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫や安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)イ (7)	(1)アイ	D (20)



美術2・3上 学びの実感と広がり 題材内容資料

表紙・オリエンテーション・学びを支える資料

ページ・タイトル	掲載内容	ページの活用方法
表紙 東山魁夷 「緑響く」 	○日本を代表する日本画家、東山魁夷の代表作「緑響く」。森の中で魁夷が「心の中にモーツァルトのピアノ協奏曲が響いていた」として描かれた幻想的な作品である。「白い馬はピアノの旋律で、木々の繁る背景はオーケストラです」などと作品には詩が添えられている。水面に映る美しい風景と優しい緑色が音楽の調べと融合し、芸術の広がりを感じさせる。	○裏表紙の作品解説とともに表紙の作品を鑑賞する。どんな音楽が聞こえてきそうか東山魁夷の気持ちになって想像してみる。モーツァルトのピアノ協奏曲第2章を流しながら作品を鑑賞し感じたことや考えたことなどを発表し合う。美術と音楽のつながりや広がりについて考え、2年生の学習への期待感を膨らませたい。
p.2～5 オリエンテーション 学びの実感と広がり 多彩な表現に挑むのは なぜだろう	○ゴッホの「星月夜」とモネの「印象一日の出」の原寸大の部分を掲載。力強い筆跡や何物にもとられない色遣いなどから画家たちが描き表したかった生き生きとした心の叫びを実感しながら感じ取ることができる。	○カナレットの作品や p.60～の「世界の美術の歩み」のページを参考にして、西洋における絵画の歴史に新しい世界を導き出した印象派の作風について解説する。実際に筆を持たせてゴッホやモネの作品の上をなぞってみたりしながら作品のよさや力強さを感じ取らせたい。
p.5 オリエンテーション 学びの言葉 岡本太郎	○「学びの言葉」として生徒に贈るメッセージ。岡本太郎は、手先や目先の美しさにとらわれることなく、自分が何を表したいのかという思いを大切にすることが大事だと強く伝えている。	○p.50-51 の「岡本太郎 “芸術はみんなのもの”」のページと関連させて生徒へメッセージを贈り、考えさせたい。
p.6-7 オリエンテーション あなたの美を見つけて	○同じ中学生の感性が一面にちりばめられているページ。生徒は何を美しいと感じ、何に心を奪われているのか、写真作品を通して中学生の感じる目を見ることができる。	○写真作品を見ながら、どんなところに美しさを感じ取っているのか、どんなところに共感できるかなどと問いかけて鑑賞させながら、身の回りにたくさん美しいものがあることに気付かせたい。
p.8-9 オリエンテーション この教科書で学びみなさんへ 	○教科書を活用した学び方の説明。題材ページの主な構成や3つの「学びの目標」、その題材で大事にしたい「造形的な視点」、わかりやすさを追求した「マーク」の説明などが掲載されている。	○オリエンテーションにおいて、美術の学習で学ぶべき分野や身に付けたい力をこのページを活用して説明する。また、学びの目標や造形的な視点を生徒と共有していくことや、道徳や他の題材と関連しながら学習を進めていくことを確認する。 ○オリエンテーションとしてページに示された詩を朗読するなどして、美術の学習で学ぶ分野や身に付けたい力について意識させる。 ○「二次元 QR コードについて」に収録されている教科書全体の説明動画を活用することもできる。
p.50-51 学びを支える資料 岡本太郎 “芸術はみんなのもの”	○20 世紀を代表する芸術家、岡本太郎の作品を通じ、芸術に対する考え方や生き方を紹介する。万国博覧会の「太陽の塔」や渋谷駅に設置された「明日の神話」など、今も私たちに刺激やメッセージを与えてくれる。	○すべての学習の根源となる考え方を示してくれる岡本太郎の「芸術はみんなのもの、生活の中にあるべきもの」というメッセージは、具体的に生徒に伝える言葉として、「美術館や展覧会などに飾るような特別の作品を創造することだけが美術であると考えてるのではなく、自分の心の内から湧き出る思いを生き生きと表現することが美術なのだ」などと説明し、学習のたびに振り返り触れるようにしたい。
p.52-53 学びを支える資料 暮らしに息づく パブリックアート	○各地にあるパブリックアートを紹介する。作品と人々の暮らしや街並みの様子がどのように融合しているかに気付かせ、芸術のある豊かな暮らしについて考えさせる。	○作品を鑑賞し、その場の雰囲気やわくわく感を想像させてイメージを話し合わせる。身近な公園や広場、道などにあるパブリックアートを見つけて紹介し合う（2・3下 p.50-51 も参照）。 ○身近な環境の中に見られる造形物などが、建物や町などの空間に位置付くイメージを捉えさせ、空間の効果やそのよさや美しさなどを感じ取らせる学習の資料としても活用する。
p.54 学びを支える資料 北斎の大波	○葛飾北斎の「神奈川冲浪裏」の作品ができるまでの膨り、摺りの流れを複製版制作の画像を用いて詳しく紹介する。また関連した波の絵や立体的な「手で見る絵」も掲載している。	○p.24～の「浮世絵はすごい」の学習と関連させて学習する。p.29 の原寸大の作品を鑑賞しながら版画による線の描写や色彩の重ね方を感じ取らせ、作品の世界を広げさせる。 ○日本の伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めさせたり、日本の美術文化の継承と創造について考えさせたりする学習で活用する。

美術2・3上 学びの実感と広がり 題材内容資料

表紙・オリエンテーション・学びを支える資料

ページ・タイトル	掲載内容	ページの活用方法
p.55 学びを支える資料 水墨画の表現	○墨の濃淡、紙によるにじみの違い、水墨画の基本的な「没骨法」「破墨法」「積墨法」について、描き方や表現を画像とともに説明している。	○p.20-21 の「水と筆を操る」の学習で参考資料として活用する。 ○日本の受け継がれてきた表現の特質を理解させたり、日本の美術文化の継承と創造について考えさせたりする学習の資料として活用する。
写真で表現する	○カメラの種類、光の当たり方、構図の例について、画像とともに説明している。	○p.6-7「あなたの美を見つけて」や p.18-19「構図に思いをのせて」の学習で参考資料として活用する。 ○カメラの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す学習の資料として活用する。
p.56 学びを支える資料 立体を描く	○「形をとらえる」仕方や「明暗を表す」仕方、「立体感を表す」仕方を鉛筆による表現方法で説明している。	○スケッチでの活用や絵画表現での陰影の表し方などの参考資料として活用する。 ○スケッチの学習を効果的に取り入れ、見る力や感じる力、考える力、描く力などを育成するときの資料として活用する。
人物をつくる	○骨格の構造や関節の動き、人物の動きを粘土で表すときの心棒のつくり方や粘土の盛り付け方を説明している。	○p.10-11「瞬間の美しさを形に」の学習で参考資料として活用する。 ○人物の造形的な特徴を基に、材料を使って見立てることや、全体のイメージで捉える学習、立体感や量感、動勢などを捉える学習の資料として活用する。
p.57 学びを支える資料 木でつくる 金属でつくる	○木でつくる場合の「接着剤で接合する」仕方、「釘を打って接合する」仕方、「組んで接合する」仕方を説明している。 ○金属の「打ち出す」「切る」「曲げる」などの加工の仕方を説明している。	○p.42-43「つくって使って味わう工芸」の制作の参考資料として活用する。 ○木や金属の特性を生かし、創造的に表す学習の資料として活用する。
p.58-59 学びを支える資料 絵巻物の世界 	○動きの表現を示す「信貴山縁起絵巻」や場面の変化を示す「鳥獣人物戯画」甲巻の絵巻物作品を掲載する。場面展開の様子がわかる両面開きの作品掲載や絵巻物の開き方の説明などから作品本来の魅力を紹介している。	○p.20-21「水と筆を操る」の関連資料として活用する。また、2・3下 p.16-17「漫画の魅力」の参考資料として活用する。 ○日本の伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めさせたり、日本の美術文化の継承と創造について考えさせたりする学習や、作風や様式などの文化的な視点で捉える学習の資料として活用する。
p.60～63 学びを支える資料 日本美術と世界の美術の歩み	○各時代の造形的な特徴を示す作品を日本と世界の美術を対比しながら掲載している。作風や様式などの文化的な視点を学ぶ学習の参考資料となる。時代ごとに特徴的な解説文が示されている。	○すべての学習において、造形的な特徴を歴史的に捉える場合の参考資料として活用する。日本および諸外国の作品の独特な表現様式を学ぶ場合の参考資料として活用する。 ○造形的な特徴などを基に、作風や様式などの文化的な視点で捉える学習の資料として活用する。
p.64 学びを支える資料 色彩の特徴を深く知る	○「同一色相」「類似色相」「対照色相」「補色色相」などの配色の基本と、「色による錯視」など配色による効果を示している。また、「トーンによる比較」や「色の面積と配置」など色彩の特徴や感情にもたらす効果などを説明している。	○配色を考えて構想するデザインの学習や描画表現の学習などで参考資料として活用する。 ○色彩の色味や明るさ、鮮やかさを捉える学習や、色彩から感じる優しさや楽しさ、寂しさなどを捉える学習や、色彩の組み合わせによる構成の美しさを捉える学習の資料として活用する。
p.65 学びを支える資料 日本の伝統色	○日本の伝統色が自然物から名付けられているものが多いことから、色の名とその由来となるものの画像とを合わせて掲載している。またそれらの色を四季と関連付けて配列している。	○p.32-33「手から手へ受け継ぐ」や p.34-35「季節を楽しむ心」などの学習で参考資料として活用する。 ○日本の文化のよさや美しさを感じ取る学習や、色彩の色味や明るさ、鮮やかさを捉える学習や、色彩から感じる優しさや楽しさ、寂しさなどを捉える学習や、色彩の組み合わせによる構成の美しさを捉える学習の資料として活用する。

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	〔共通事項〕	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.8～11 今を生きる私へ 6～8時間	題材の目標 自分の心の中を見つめ、自分らしさや個性から主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、絵の具や用具などの特性を生かし意図に応じて創意工夫して絵や立体で表現する。 主な学習内容 ○自己と向き合い、自分の生き方と照らし合わせながら、自分の気持ちや性格、思い出や夢などについて考え、主題を生み出す。 ○主題を基に構図や色彩などを試行錯誤し、創造的な構成を工夫して構想を練る。 ○材料などの特性を生かし、意図に応じて創意工夫して表す。 ○自分や友だちの作品を鑑賞し、その心情や表現の意図と表現の工夫などについて考え、発表し合う。	教師 画用紙 加工粘土 鏡 新聞紙などの紙類 粘土板 へら 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	（知識・技能） 知 構図や顔の角度、表情やしぐさ、背景や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、自分の印象など全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 自分の姿を深く見つめ感じ取ったことや考えたことや心の内面などを基に主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に自分の姿から感じ取ったことや心の内面などを基に構想を練ったり、構図や表情など意図に応じて表現方法を創意工夫して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表情の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(7) (2)ア(7)	(1)ア(7)	(1)アイ	A(3)
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.12-13 空想は現実を超えて 4～8時間	題材の目標 空想や夢、心の中の世界などから主題を生み出し、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に絵で表現する。 主な学習内容 ○夢、想像や感情などの空想や心に広がる世界などを考えたり広げたりしながら主題を生み出す。 ○主題を基に新たなことを想像したり、さらに組み合わせたりしながら構想を練る。 ○絵の具などの特性を生かし、意図に応じて創意工夫して表す。 ○自分や友だちの作品を鑑賞し、その心情や表現の意図と表現の工夫などについて考え、根拠を明らかにして意見を述べたり批評したりする。	教師 画用紙 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	（知識・技能） 知 構図や色彩などが感情にもたらす効果や、具体物や抽象的な物の組み合わせなどを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 技 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 空想や心に広がる世界を基に主題を生み出し、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に空想や夢を基にした心の中の世界から構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表情の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(7) (2)ア(7)	(1)ア(7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.14-15 仲間との交流の中から 5～8時間	題材の目標 友だちと出し合ったアイデアから主題を生み出し、形や色彩、作品の大きさや展示の効果を考え、意図に応じて表現方法を創意工夫して絵や立体で表現する。 主な学習内容 ○共同制作について、学校全体あるいは小グループで意見を出し合い、主題を生み出す。 ○部分や全体に着目して、構成の仕方を試行錯誤して表現する構想を練る。 ○互いの個性を生かした分担をしながら、意図に応じて表現方法を創意工夫して表す。 ○協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。	教師 画用紙 布 段ボール板 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 絵の具 など	（知識・技能） 知 形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、作品の大きさなどを基に、全体のイメージなどで捉えることを理解している。 技 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して表している。 （思考・判断・表現） 発 友だちと出し合ったアイデアなどを基に主題を生み出し、形や色彩、作品の大きさや展示の効果などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に友だちと意見を出し合い、形や色彩、作品の大きさや展示の効果などを考え構想を練り、意図に応じて表現方法を創意工夫して表す表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(7) (2)ア(7)	(1)ア(7)	(1)アイ	B(9)

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況　Ｂ）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	〔共通事項〕	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.16-17 漫画の魅力 3～5時間	題材の目標 印象的な場面や瞬間のイメージなどから主題を生み出し、コマ割りや構図、背景などの効果を考え、ペンや筆の特性を生かし意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に絵で表現する。 主な学習内容 ○印象的な場面や瞬間のイメージなど強く表したいことから主題を生み出す。 ○コマ割りや構図、効果線やオノマトペなど表現してみたい技法を試み、自分の感じ方や考え方などで構想を練る。 ○ペンや筆の特性を生かし、制作の順序などを総合的に考えながら表す。 ○自分や友だちの作品を鑑賞し、作者の心情や創造性などについて意見を出し合う。	教師 ペン 画用紙 ケント紙 スクリーントーン 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具　など	（知識・技能） 知 コマ割りや構図、効果線やオノマトペ（擬声語）などの漫画の表現の効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 技 ペンや筆などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 印象的な場面や瞬間のイメージなどを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、コマ割りや構図、背景などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に心に残る場面などを単純化や省略、強調、コマ割りや構図、背景などの効果を考え構想を練り、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7) (4)	(1)ア (7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.18-19 イメージを追い求めて 4～8時間	題材の目標 感情やイメージを基に主題を生み出し、形や質感、重心などの効果を考えて、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に立体で表現する。 主な学習内容 ○抽象彫刻の作品を鑑賞し、造形的な特徴などから何かに見立てたり、心情などと関連付けたりしながらイメージで捉えることを理解する。 ○複数の視点から対象を深く見つめたり、本質について想像させたりして主題を生み出す。 ○主題を基に、単純化や省略、強調、形や質感、重心などを考え、内面や本質を捉え直しながら構想を練る。 ○材料や用具を関連付けたり総合的に扱ったりするなどして生かしながら創造的に表す。 ○友だちの作品を鑑賞し、その心情や表現の意図や工夫などについて考え、話し合う。	教師 木材 石材 加工粘土 紙やすり 木工やすり 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 身辺材料 絵の具 彫刻刀　など	（知識・技能） 知 形が感情にもたらす効果や、性質、立体感、量感や動勢などの造形的な特徴や置かれている空間などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 技 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 （思考・判断・表現） 発 表したいイメージなどを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、形や質感、重心などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感情やイメージなどを形で表そうと単純化や省略、強調、形や質感、重心などを考え構想を練り、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	
絵や彫刻など（表現・鑑賞）	p.20-21 きらめき　ゆらめき 3～6時間	題材の目標 生活の中の光の変化が感情にもたらす効果や、美しさなどから主題を生み出し、光や影、色彩などの効果を考えて意図に応じて自分の表現方法を創意工夫して表現する。 主な学習内容 ○光から感じるやさしさや楽しさ、柔らかさなど感情にもたらす効果に着目したり色彩を豊かに捉えたりして理解を深める。 ○光がもたらすさまざまな感情や美しさ、色彩の変化に自分自身を投影して主題を生み出す。 ○主題を基に形や色彩などを工夫して構想を練る。 ○材料や用具を工夫して、より美しいものを目指して試行錯誤を続けるなど、自分の表現方法を追求して創意工夫して表す。 ○自分や友だちの作品を鑑賞し、光の表現に込められた意図や工夫について考え、話し合う。	教師 画用紙 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 絵の具　など	（知識・技能） 知 生活の中にある光の性質や、それらが感情にもたらす効果、色彩の変化などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージなどで捉えることを理解している。 技 絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して表している。 （思考・判断・表現） 発 情景の中の光のイメージなどを基に主題を生み出し、光や影、色などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に光や影、色などの効果を考え構想を練り、意図に応じて自分の表現方法を追求して表す表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア (7) (2)ア (7)	(1)ア (7)	(1)アイ	

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	〔共通事項〕	
絵や彫刻など（鑑賞）	p.22-23 ルネサンスが目指したもの 1～2 時間	題材の目標 ルネサンスの表現の特徴や美しさ，時代背景などに関心を持ち，作者の意図と創造的な工夫，国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして，見方や感じ方を深める。 主な学習内容 ○ルネサンスの作品を鑑賞し，ほかの時代の作品と比べるなどして，気付いたこと，感じたこと，考えたことを話し合う。 ○作品を通して，作者の生きた時代や社会的背景など幅広い視点から捉えた，作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考え発表し合う。 ○美にあこがれる人間の普遍的な心情など，ルネサンスの美術や文化のよさや美しさなどについてまとめる。	教師 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能）  明暗や色彩などが感情にもたらす効果や，表情やしぐさ，構図や背景などを基に，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現）  ルネサンスの表現からよさや美しさを感じ取り，ほかの時代の表現との相違点に気付き，作者の意図と創造的な工夫，美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度）  美術の創造活動の喜びを味わい主体的にルネサンスの表現の特徴や美しさ，作者の意図と創造的な工夫，時代背景や美術を通した国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)ア (7) イ (4)	(1)アイ	A (5)
絵や彫刻など（鑑賞）	p.24～29 あの日を忘れない 1～2 時間 	題材の目標 絵に込められた作者の訴えたいことなどに関心を持ち，造形的な美しさなどを感じ取り，社会における美術の働きについて考えるなどして，見方や感じ方を深める。 主な学習内容 ○作品を鑑賞し，気付いたこと，感じたこと，考えたことを話し合う。 ○作者が作品を通じて訴えたいことを何なのか，時代や社会的背景なども視野に入れて作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考え，意見を述べ合う。 ○社会における美術の力について話し合う。	教師 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能）  形や色彩などが感情にもたらす効果や，物の組み合わせや構図などを基に，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現）  造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫や，社会における美術の力について考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度）  美術の創造活動の喜びを味わい主体的に，絵に込められた作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫や，社会における美術の力について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)ア (7)	(1)アイ	A (4) C (18) D (19) D (22)
絵や彫刻など（鑑賞）	p.30-31 仏像に宿る心 1～2 時間	題材の目標 顔や手の表情がもたらす効果による全体のイメージなどを捉え，仏像彫刻の特色やよさや美しさに関心を持ち，作者の意図と創造的な工夫，美術を通した美術文化の継承と創造について考えるなどして，見方や感じ方を深める。 主な学習内容 ○作品を鑑賞し，顔や手の表情がもたらす効果や，形や材料，質感，空間などの造形的なよさや美しさを感じ取る。 ○時代や種類，作者による特徴などを理解し，作品から受ける思いについて意見を述べ合う。	教師 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能）  形や材料などの性質，それらが感情にもたらす効果や，顔や手の表情や，質感，空間などを基に，よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現）  受け継がれてきた表現の特質などから仏像彫刻のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに，表現の意図と創造的な工夫，美術を通した美術文化の継承と創造などについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度）  美術の創造活動の喜びを味わい主体的に仏像彫刻のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに，表現の意図と創造的な工夫，美術を通した美術文化の継承と創造などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)イ (4)	(1)アイ	C (17)
絵や彫刻など（鑑賞）	p.32-33 どこまで修復すべきか 1～2 時間	題材の目標 美術作品に受け継がれてきた美意識や造形的なよさを感じ取り，美術文化の継承と創造について考えるなどして，見方や感じ方を深めたり，意見を出し合ったりする。 主な学習内容 ○作品を鑑賞し，形や色彩，材料などに着目して，古いものの中にある美意識などを捉える。 ○文化財をどのように次世代へと継承するのかを考え，友だちと意見を述べ合う。	教師 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能）  形や色彩，材料などの性質や，それらが感情にもたらす効果，造形的な特徴などを基に，よさや美しさを全体のイメージや古いものの中にある美意識などで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現）  美術作品に受け継がれてきた美意識などから，伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに，美術を通した美術文化の継承と創造などについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度）  美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに，美術を通した美術文化の継承と創造などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)イ (4)	(1)アイ	C (17)

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	〔共通事項〕	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.34-35 自分へ贈る卒業記念品 5～8時間	題材の目標 使う場面や飾る場所，思いなどから主題を生み出し，形や色彩，材料の効果を考え，意図に応じて表現方法を創意工夫して見通しを持ってデザインする。 主な学習内容 ○これまでの美術の授業で身に付けたことを生かして，用いる場面や飾る場所を考えて主題を生み出す。 ○造形的な美しさなどを考えて構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かしながら，見通しを持って創造的に表す。 ○自分や友だちの作品を鑑賞し，表現の意図や工夫を考え，話し合う。	教師 加工粘土 木材 木工用接着剤 スチレンボード 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 身辺材料 絵の具 など	（知識・技能） 知 形や色彩，材料の質感などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，意図や効果など全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具の特性を生かし，意図に応じて表現方法を追求して，制作の順序などを総合的に考えながら，見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 思 構成や装飾の目的や条件などを基に，使う場面や飾る場所，思いなどから主題を生み出し，美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え，表現する構想を練っている。 鑑 使う場面や飾る場所，思いなどとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に調和のとれた装飾を考え構想を練り，意図に応じて表現方法を追求し見通しを持って表す表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う場面や飾る場所，思いなどとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (7) (2)ア (7) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.36-37 私の色 みんなの色 4～8時間	題材の目標 染色の技法を生かして表現することに関心を持ち，使う場面や飾る場所などから主題を生み出し，形や色彩，染色の技法の効果を考えて，材料や用具の特性を生かし自分の表現方法を追求してデザインする。 主な学習内容 ○使う場面や飾る場所，イメージなどから主題を生み出す。 ○機能と造形的な美しさとの調和を総合的に考えて構想を練る。 ○布の特性や感情にもたらす効果，用具の機能面としての特性を生かしながら創造的に表す。 ○自分や友だちの作品を鑑賞し，表現の意図や工夫を考え，話し合う。	教師 画用紙 布 染料 絵の具 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 絵の具 など	（知識・技能） 知 形や色彩の構成，布の質感などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴や染色の技法などを基に，よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具の特性を生かし，意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表し，制作の順序などを総合的に考えながら，見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 思 構成や装飾を基に，使う場面や飾る場所，イメージなどから主題を生み出し，形や色彩，染色の技法の効果から美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え，表現の構想を練っている。 鑑 身に付けたり空間を飾ったりする物の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う場面や飾る場所，イメージなどから主題を生み出し，形や色彩，染色の技法の効果から美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさを総合的に考え構想を練り，意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表し見通しを持って表す表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に身に付けたり空間を飾ったりする物の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (7) (2)ア (7) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	



分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	〔共通事項〕	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.38-39 魅力を伝えるパッケージ 2～8 時間	題材の目標 伝える目的や条件，中身のイメージなどから主題を生み出し，意図に応じて表現方法を創意工夫してデザインする。 主な学習内容 ○身の回りのパッケージの造形的な特徴などに着目し，形や色彩の工夫を理解する。 ○伝える相手や内容のほか，地域や社会との関わりなども視野に入れて主題を生み出す。 ○情報や気持ちなどを分かりやすく美しく的確に伝える効果と調和を考え構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かしながら，見通しを持って創造的に表す。 ○自分や友だちの作品を鑑賞し，表現の意図や工夫を考え，話し合う。	教師 画用紙 ケント紙 両面テープ 透明 コートフィルム 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 色鉛筆 絵の具 など	（知識・技能） 知 形や色彩，質感などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，意図を全体のイメージなどで捉えることを理解している。 技 材料や用具の特性を生かし，意図に応じて表現方法を創意工夫して，制作の順序などを総合的に考えながら，見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 思 伝える目的や条件，中身のイメージなどを基に，伝える相手や内容などから主題を生み出し，伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え，表現の構想を練っている。 鑑 伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝える目的や条件，中身のイメージなどから，パッケージをデザインすることの構想を練り，意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って表す表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (イ) (2)ア (ア) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.40-41 動きを生かして印象的に 3～8 時間	題材の目標 伝えたいメッセージや情報などから主題を生み出し，動画の特性を生かし，意図に応じて自分の表現方法を追求して表す。 主な学習内容 ○伝えたいメッセージや情報，伝える相手などから主題を生み出す。 ○分かりやすく的確に伝えるという効果と美しさなどとの調和を考え，表現の構想を練る。 ○カメラの特性を生かし，意図に応じて創造的に表す。 ○自分や友だちの作品を鑑賞し，表現の意図や工夫を考え，話し合う。	教師 デジタルカメラ タブレット 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 絵の具 色鉛筆 など	（知識・技能） 知 構図や動き，コマ割り，時間の経過などの効果や，造形的な特徴などを基に，伝達の意図など全体のイメージで捉えることを理解している。 技 カメラの特性を生かし，意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表し，制作の順序などを総合的に考えながら，見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 思 伝えたい場面やイメージなどを基に，伝える相手や内容，社会との関わりなどから主題を生み出し，コマ割りや構図の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え，表現の構想を練っている。 鑑 伝えたい場面やイメージなどの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に動画ならではの工夫を生かして，コマーシャルを作成することを考え構想を練り，意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表し見通しを持って表す表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝えたい場面やイメージなどの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (イ) (2)ア (ア) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	p.42-43 心がほっと なごむもの 5～8 時間	題材の目標 使う人への気持ちや場面，楽しさなどから主題を生み出し，材料や用具の特性を生かし見通しを持って創造的につくる。 主な学習内容 ○使う目的や条件などから，使用する者への作用や機知やユーモアなどから主題を生み出す。 ○使いやすさや機能と遊び心の調和を総合的に考えて表現の構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かしながら，見通しを持って創造的に表す。 ○自分や友だちの作品を鑑賞し，表現の意図や工夫を考え，話し合う。	教師 加工粘土 木材 木工用接着剤 陶土 粘土板 へら 木工やすり 紙やすり 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 身近材料 絵の具 など	（知識・技能） 知 形や色彩，材料などの性質，それらが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などを基に，遊び心などを全体のイメージで捉えることを理解している。 技 材料や用具の特性を生かし，意図に応じて表現方法を創意工夫して，制作の順序などを総合的に考えながら，見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 思 使う目的や条件などを基に，使用する者への作用，機知やユーモアなどから主題を生み出し，使いやすさや機能と遊び心などとの調和を総合的に考え，表現の構想を練っている。 鑑 使いやすさや機能の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして，美意識を高め，見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使いやすさや機能と，遊び心などを生かして，使う人のことを考えたものをデザインすることを基に構想を練り，意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って表す表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使いやすさや機能の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り，表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (イ) (2)ア (ア) (イ)	(1)ア (イ)	(1)アイ	B (6)

分野	ページ・題材名・配当時間の目安	題材の目標・主な学習内容	主な材料・用具	題材の評価規準の例（おおむね満足できる状況 B）	学習指導要領との関連			道徳との関連
					A 表現	B 鑑賞	〔共通事項〕	
デザインや工芸など（表現・鑑賞）	P44-45 人が生きる社会と未来 4～8時間	題材の目標 道のデザインについて、空間や機能、通る人の心情や安全性などを考えて主題を生み出し、意図に応じて見通しを持って表す。 主な学習内容 ○道としての機能や通る人の心情や安全性などから主題を生み出す。 ○多くの人が共通して感じる使いやすさや機能と造形的な美しさとの調和を総合的に考えて構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かしながら、見通しを持って創造的に表す。 ○自分や友だちの作品を鑑賞し、生活を豊かにする造形や美術の働きについて考え、意見を述べ合う。	教師 画用紙 ケント紙 加工粘土 木材 発砲スチロール はさみ カッター 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 身近材料 絵の具 など	（知識・技能） 知 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果や、空間や機能など造形的な特徴などを基に、道を全体のイメージなどで捉えることを理解している。 技 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って表している。 （思考・判断・表現） 思 道としての機能、通る人の心情や安全性などから主題を生み出し、形や色彩、材料、空間などの効果や美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 鑑 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に通る人の思いなどを考えて道をデザインする構想を練り、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って表す表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)イ (ウ) (2)ア (ア) (イ)	(1)イ (ア)	(1)アイ	C (12)
デザインや工芸など（鑑賞）	p.46-47 笑顔が生まれる 鉄道デザイン 1～2時間	題材の目標 デザイナー・水戸岡鋭治の鉄道デザインを通して、地域の特色を取り入れたデザインの工夫やその世界観を感じ取り、デザインが社会に果たす役割などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。 主な学習内容 ○水戸岡の作品を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことを話し合う。 ○機能性と調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考え、発表し合う。	教師 視聴覚機器 参考資料 ワークシート など 生徒 筆記用具 など	（知識・技能） 知 形や色彩、材料などの性質、それらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージなどで捉えることを理解している。 （思考・判断・表現） 鑑 目的や条件との調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、乗車する人の立場、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、心地よく生活できる視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 （主体的に学習に取り組む態度） 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に目的や条件との調和のとれた洗練された美しさを感じ取り、乗車する人の立場、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、心地よく生活できる視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)ア (イ) イ (ア)	(1)アイ	C (17)

美術2・3下 学びの実感と広がり 題材内容資料

表紙・オリエンテーション・学びを支える資料

ページ・タイトル	掲載内容	ページの活用方法
表紙 サンティアゴ・カラトラバ 「オキュラス」 	○2001 年9月 11 日に発生したアメリカ同時多発テロによって機能不全となった旧ワールド・トレード・センター駅の代わりにトランスポートेशन・ハブとしてつくられた「オキュラス」。ラテン語で眼（eye）の意味を持つ。その有機的な構造は、ニューヨークの新しいランドマークとして期待される。	○景色に映える白と空に向かって伸びあがる羽のような形、またワールド・トレード・センターを見つめる眼のような全体の構造を捉え、造形的な美しさなどを感じ取り、建てられた場所の歴史的な背景をふまえながら、未来の人類の幸福などの視点から美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めさせたい。
p.2～5 オリエンテーション 学びの探求と未来 時代を超えて美を探求する思い	○スペイン・バルセロナ市の象徴であるサグラダ・ファミリア聖堂は、2005 年に「サグラダ・ファミリアを含めたガウディの作品群」としてユネスコの世界文化遺産として登録された。アールヌーヴォーを思わせる有機的な構造が特徴である。1978 年より彫刻家の外尾悦郎が関わっており、ガウディの思いを引き継ぎながら素材である石の特性や、自然から受けたイメージから表現を続けている。完成はガウディの没後 100 年にあたる 2026 年を予定している。	○教会という特性から時代を超えて人々に引き継がれてきた全体のイメージやその構造を捉え、人間の持つ美意識を感じ取り、時代背景などに関心を持ち、ガウディの表現意図と創造的な工夫、国籍や住む地域を超えた美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めさせたい。
p.5 オリエンテーション 学びの言葉 井浦新	○俳優の井浦新は、ファッションモデルやデザイナーとして幅広く活躍。日本の伝統文化・芸術・芸能に対しての造詣が深く、さまざまな美術関連の番組にも出演している。	○井浦の言葉から、美術の学びをどのような活躍につなげていったのかなどについて考えていき、美術文化が人々に与える影響について考えるなどして見方や感じ方を深めさせたい。
p.6-7 オリエンテーション この教科書で学びみなさんへ 	○教科書を活用した学び方の説明。題材ページの主な構成や3つの「学びの目標」、その題材で大事にしたい「造形的な視点」、わかりやすさを追求した「マーク」の説明などが掲載されている。	○オリエンテーションにおいて、美術の学習で学ぶべき分野や身に付けたい力をこのページを活用して説明する。また、学びの目標や造形的な視点を生徒と共有していくことや、道徳や他の題材と関連しながら学習を進めていくことを確認する。 ○オリエンテーションとしてページに示された詩を朗読するなどして、美術の学習で学ぶ分野や身に付けたい力について意識させる。 ○「二次元 QR コードについて」に収録されている教科書全体の説明動画を活用することもできる。
p.58-59 オリエンテーション 社会に生きる美術の力	○人類の明るく未来を切り開き、生活や社会を豊かにする3名の方々が、美術で身に付けた力をどのように活用しているかを、本人の言葉で語っている。	○紹介されている3名のそれぞれの専門分野で、美術で身に付けた力がどのような形で生かされているのかを実感を伴って知ることができる。美術における資質・能力が、中学校を卒業してからも大切であることを理解させたい。また、多様な価値観を知ること、美術文化に対する見方や感じ方を深めさせたい。
p.60-61 オリエンテーション あなたへ 明日への巣立ち	○めぐる季節の一瞬を切り取った一枚の写真。中井精也が捉えたこの風景には、次の駅へ旅立つ列車、車窓から桜を見つめる瞳と舞い込む花びらに手を延ばす様子が写っている。義務教育を修了し、自らが選ぶ進路と共に、美術で身に付けた力を使って活躍してほしいという思いを込めて、「あなたへ～明日への巣立ち～」の言葉を贈る。	○最後の授業に、生徒一人一人と向き合いながら心を込めて内容を読み、最後ではなく“未来への言葉”として伝え、生徒の成長を見守っていきたい。また、文中に句読点がないことから、生徒全員に向けた美術に関わる全ての人からの「祝いの言葉」であることも伝えたい。 ○教育の現場では、全員が美術を学ぶ機会は中学までであるが、これまでに身に付けてきた美術における資質・能力が卒業後も社会や生活を豊かに、よりよいものにしてくれ、一生大切であることを意識させたい。
p.48-49 学びを支える資料 火焰型土器（原寸大）	○燃え上がる炎を象ったかのような形状は岡本太郎をも驚愕させた。縄文時代の人たちが炎をイメージしたかどうかはわからないが、S 字状、渦巻状、鋸の歯状などの形の特徴と原寸大の写真から、その迫力と造形の面白さを味わうことができる。	○形や構造を基に全体のイメージや作風などで捉え、造形的なよさや美しさを感じ取らせて、表現活動での制作の参考にさせたい。また縄文時代の人たちの時代背景や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなど、美意識を高め、見方や感じ方を深めさせたい。

美術2・3下 学びの実感と広がり 題材内容資料

表紙・オリエンテーション・学びを支える資料

ページ・タイトル	掲載内容	ページの活用方法
p.50-51 学びを支える資料 さまざまなアートに触れよう	○国内には、授業作品の展覧会をはじめ、美術館の展示や世界的なアートイベントなど身近に美術と触れ合える場所や機会がある。地域や社会とアートが一体となり、人類の明るく活力のある未来に大きな効果をもたらすことを紹介している。	○作品を発表する人や企画をする人、その場所を提供する人など、さまざまな立場から気持ちを考え、人間の生き方や価値観が形成できるようにしていきたい。 ○さまざまなアートイベントを通じた地域の活性化や、生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、より深く社会と向き合い、見方や感じ方を深めさせたい。
p.52 学びを支える資料 日本の世界文化遺産	○世界文化遺産への登録基準として「人類の創造的才能を表す傑作」や「歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、科学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本」などがある。日本のさまざまな地域で人の手によって保存され、守られながら今に受け継がれている文化遺産を紹介している。	○美術作品だけでなく、美術や美術文化として捉えることができる対象が多く存在し、これらに対する見方や感じ方を深め、人間が豊かな生活や社会を創造する上でなくてはならないことを理解させたい。 ○我が国や郷土の伝統や文化を受け止め、そのよさを継承・発展させるための教育や、異なる文化や歴史に敬意を払い、人々と共存してよりよい社会を形成していこうとする態度を育てたい。
p.53 学びを支える資料 受け継ぐ伝統と文化	○地域の伝統的な工芸、民芸などは、素朴で温かみのある手づくりの作品であり、無形の文化財である伝統工芸家などの熟達した技能が生きている。地域の材料とそれに伴う表現技術、伝統工芸家や作家など経験豊かな人材などからも、美術が生活に根ざし、伝統や文化の創造の礎となっていることがわかる。	○流行のみに流されず、美しいものやよいものを自分の基準で選べる価値意識や、優れたデザインを自分の目と心で確かめ、その価値を判断していく美的判断力を育てる体験を通じた美術の学習を行いたい。
p.54 学びを支える資料 仏像の種類 美術文化の継承	○「如来」「菩薩」「明王」「天部」4種類の仏像の造形的な特徴や身に纏っているものの解説を記した。仏像を鑑賞する際の基礎知識として押さえたい。 ○美術文化の継承について、つくられた当時と同じ素材や技法を使うことで復元させた例を紹介している。	○「仏像に宿る心」（p.30-31）を鑑賞する際の参考資料として活用したい。また、日本文化を探究する学習や修学旅行などの学校行事においても活用したい。 ○「どこまで修復すべきか」（p.32-33）において、文化財の保存や修復を考える際の資料として活用したい。
p.55 学びを支える資料 トリックアート デペイズマン	○目の錯覚を利用するトリックアートの作品を紹介し、さらにページを折ってイラストの見え方の変化を体感することで実感を伴った理解を促す。 ○デペイズマンとは、「異なった環境に置くこと」を意味するフランス語で、シュルレアリスムの手法の一つである。代表的なルネ・マグリットの作品を参考に、予想外の組合せとはどのようなものかを記している。	○「空想は現実を超えて」（p.12-13）を表現する際など、自分のイメージを膨らませる制作の参考資料として活用したい。また、視覚に訴える効果が人に与える影響も考えさせたい。
p.56 学びを支える資料 石を彫る 布を染める	○材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すための資料として、「石」と「布」に関する技法を紹介している。「石」は高麗石・白滑石のような柔らかいものが学校の現場ではよく使用される。構想した形に近づくように削ったり磨いたりする工程を示している。彫刻刀や金工やすり、紙やすりの特性も身に付けたい。 ○「布」は、木の葉や草など自然の材料、絵の具などの身近な材料などで染めることができる技法を紹介している。	○「オリエンテーション 学びの探求と未来 時代を超えて美を探求する思い」（p.2～5）や「イメージを追い求めて」（p.18-19）の参考資料として活用する。彫る順序や石目の方向があることなど、材料の性質に沿った彫り進め方や用具の扱い方を考えさせたい。 ○「私の色 みんなの色」（下 p.36-37）「手から手へ受け継ぐ」（上 p.32-33）の参考資料として活用する。身近な絵の具から、日本特有の色彩が感じられる染料などそれぞれの特性を生かしながらさまざまな表現方法などを学ばせたい。
p.57 学びを支える資料 動画をつくる	○動画を制作する一連の流れが記されている。一枚の絵や写真では表せない時間の経過や動きが生かせる表現であり、同時に音声やテロップなどを加え、制作の手順などを総合的に扱いながら表現することができる。また、ここでは肖像権や著作権など、保護しなければならない人の権利も踏まえて学習していく必要がある。	○「動きを生かして印象的に」（p.40-41）の参考資料としてビデオカメラやタブレット型 PC などの機器の特性を生かした工夫や、動画編集によるイメージの広げ方などに活用していきたい。また、動画クリエイターなどの職業との関連を踏まえながら、主体的に学習に取り組む態度も育成していきたい。